

第1回 秋田地域メディア連携協議会 実施状況 <概要版>

開催日時: 令和元年7月5日 10:00 ~ 12:05

開催場所: 秋田河川国道事務所 大会議室

メディア参加者: **15社 19名**

行政参加者: 秋田県、秋田地方気象台、東北地方整備局水災害予報センター、秋田県内各事務所

<趣旨>

地域のリスク情報や水害・土砂災害情報等について、テレビや新聞、ラジオ等のそれぞれが有する特性を活かし、地域住民の理解と避難行動に繋げるために、情報共有・意見交換をおこなう。

<メンバー>

メディア: 17社 (テレビ: 7、ラジオ: 6、新聞: 4)

行政: 秋田県、秋田地方気象台、東北地方整備局水災害予報センター、秋田県内各事務所

<取組事項>

- ・メディアと行政それぞれの水害、土砂災害情報の提供、伝達に関する取組状況の共有
- ・災害時における住民への効果的な情報伝達のための情報共有、連携方策の調整
- ・平時からの住民等への周知、啓発、訓練等による防災力強化に関する連携方策の調整 等



(意見交換の状況)

【意見交換でのメディアからの主な意見】

- ・河川カメラの映像にどんなコメントで伝えることが避難に結びつくのか現地調査を行いながら「命を守る呼びかけ」の作成を進めている。
- ・迅速に災害情報を伝達するには、地名や河川等固有名詞には「ふりがな」を付けることを徹底してほしい。
- ・避難に結びつく情報発信には、行政だけではなく、地域のメディアとの協力も進めていきたい。
- ・平時から水害リスクを含め、自分の住んでいる場所の災害リスクを知ってもらうための放送も重要。
- ・テレビのテロップで〇〇市が危ないと言われても、市が合併により広大となったため解りづらい。
- ・停電ではTVが見れないなど、メディアそれぞれに得意不得意があり各々では限界があるので、メディア全体としてしっかり住民に情報を届けることが大切。
- ・地域に伝わる古くからの経験なども平時から伝えていく必要がある。